

<基本理念>

放課後等ディサービス「こもれび」では、様々な障がいのある子どもたちが思い思いに楽しめる空間づくりを目指しています。

<支援方針>

- ①集団を通して、お子様一人一人の社会性や協調性を高め、主体的に社会生活を営んでいく力に繋がるよう支援を行ないます。
- ②ご家族の想いにも耳を傾け、お子様とご家族の人生に寄り添えるよう取り組んでいきます。
- ③思い切り身体を動かすことで、日常の「モヤモヤ」などを発散し、情緒の安定を図ります。

<営業時間> ①平日（月～金） 16:00～18:00

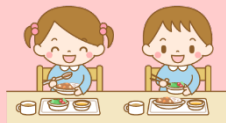
②長期休暇・休校日 9:30～18:00

*時間外延長支援あり

<送迎サービス> あり *距離等、要相談の場合あり

<健康・生活>

食えることやトイレ・着替え（季節に応じた着衣など）の日常生活について、お子様の発達段階と生活環境を把握し、一つ一つの課題に繰り返し取り組んでいくことで、お子様ができる形での定着に繋げていきます。



<運動・感覚>

巨大なトランポリンや跳び箱・ボールプール等を用いて、運動機能やバランス感覚・距離感など様々な身体感覚の成長を支援します。身体の動きをコントロールできるようになるだけではなく、身体を動かすことにより情緒面のコントロールもできるように促しを行なっています。



<認知・行動>

「話を聞く」「苦手なことにもチャレンジしてみる」等の課題に向かう姿勢や力がつくように支援を行なっていきます。経験を重ねることで「楽しい」「やってよかった」と感じられるよう関わり方や内容の工夫を行なっていきます。



<行事>

音楽セッション
お花見・買い物体験
避難訓練・お菓子作り
クリスマス会・初詣
外出活動など

<言語・コミュニケーション>

「要求」や「質問や報告をする」「観察して模倣をする」などの経験を重ねながらコミュニケーションの方法を学びます。言葉だけではなく、指さしやジェスチャーなど、お子様にあった方法を一緒に模索していきます。



<人間関係・社会性>

ソーシャルスキルの習得を目指し、「挨拶」や「ルールを守る」「指示に沿った行動をする」等社会に適応するために必要なスキルを集団行動や他者との関わりを通して実践的に学び、身につけていきます。



<家族支援>

定期面談でお子様の成長や課題についてご家族と話し合い、継続的に支援できるようサポートします。

<移行支援>

「生活スキルの向上」と「自己決定力（自分の強みや希望を理解し自分で決める力）」を育てる支援を行ないます。

<地域支援・地域連携>

学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。公共施設の利用など地域資源を活用していきます。

<職員の質の向上>

定期的な研修実施による意識向上を図るとともに、働きやすい環境の整備を行ない、職員のストレス軽減に努めています。